

平成23年 第6回(9月)志免町議会定例会一般質問通告書

通 告 順

番号	質問者	質問時間	件 名	要 旨	具 体 的 質 問 内 容	質問の相手
			1. 南里町政4期目について。	(1) 任期中の4年間、どのように町政に取り組みますか。	① 「人づくりは、まちづくり」を基本理念とし、人を育てること、人々が結び合うことが大切(広報6月号掲載)とあるが、具体的に何をするのか。 ② 住民協働のまちづくり。 i 住民提案制度の活用が急がれるが、町民が活動しやすい制度ができるのか。 ii 活動拠点の整備はどうなっているのか。 ③ 安定した行政経営が実践できるまちづくり。 i 緊急財政健全化計画の使用料の適正化にも当たると思うがファミリー農園(土地借り上げ料954万円)の利用料は負担してもらってもいいのではないか。 ④ 4年間の大きな課題ではないのか。 i 可燃物処理の29年度以降の準備を環境の視点(ゴミを減らしていく)も取り入れてする必要があると思うが所見を伺う。 ii 当町においては水洗化が高くなっているののでし尿処理をどうしていくのか、方向性を伺う。	町 長
1	丸山真智子	30分	2. 安心安全なまちづくり。	(1) 東日本大震災後の志免町の防災力の向上について。	① 震災後、地域防災計画の見直しはどうなっているのか。 ② 防災計画の策定、見直しや防災会議に女性が参画しているのか。 ③ 防災マップの内容の周知。 ④ 災害時要援護者の支援体制について。 i 対象者(身体障がい者1~2級など)の実数。 ii 8月広報掲載の登録は地域支援者を自分で探すのは大変なのではないか。 iii 手上げ方式ではなく同意式で行い、各種団体(民生委員、身障者協会など)と連携して体制作りを行うべきではないのか。 iv 県予算の「高齢者等地域支えあい体制づくり事業費」を活用するのか。 ⑤ 自主防災組織結成について。 i 何回か質問を重ね、昨年9月議会ではモデル2町内会と打ち合わせるとの答弁だったが進捗状況は。 ii 避難実施訓練が重要と今回の大震災でも報告があっている。訓練実施を進めるべきでは。 iii 他の町内会の結成に向けての取り組みは。 iv 県予算「避難活動コミュニティ育成強化費」を活用するのか。	町 長
2	大西 勇	30分	1. 環境問題。	(1) 空き家対策について。	① 空き家問題は全国的な問題になっているが、本町でも前回事例を示して、国の補助事業である、「空き家等の適正管理条例」や「危険廃屋解体支援事業」等を創設して所有者に解体を促し促進していくよう提言していたがその後どう検討されたのか。 ② 「危険廃屋解体支援事業」をはじめた自治体では半年間で5件の実績が上がったと聞く。その自治体では行政は「社会資本整備総合交付金」を活用し、業者は「リサイクル法」を活用して行ったという事でした。まずは「適正管理条例」を創設し、危険廃屋の所有者に対し、警察や消防署と連携し厳しく勧告や撤去命令を出す。さらに、「解体支援事業」を創設し、併用して早期解決していただきたい。 ③ 本町では更地の寄贈があった場合どのように受け入れているのか。 ④ 空き家や危険廃屋について、寄贈があった場合町は受けられるのか。	町 長

			2. 教育問題。	(1) バス通学費助成制度か負担軽減策について。	<p>⑤町が譲り受けた空き家を公費で解体し、ごみの集積場や防災用具置き場、駐車場等の公共的な利用をする等の対策を取っている自治体があるが、いろいろな解決策を取っていただきたい。</p> <p>⑥過去5年間で空き家が増加した上位3県に福岡県が入っている。その中で、我が町は8,7k㎡の狭い面積で91件も空き家があるさらに、一町内会に20軒以上の危険廃屋があるのは異常だと思うがご見解を。</p> <p>①志免中の生徒でバス通学は何人で何割か。</p> <p>②亀山バス停から志免中(新屋敷)までの正規の料金と、3ヶ月定期の料金は。</p> <p>③町が例えば1割助成となればどの位の金額になるのか。</p> <p>④自転車通学が禁止されているので、バス通学は当たり前だと言う意見もあるが、西校区はマンション等が多く住みやすい町として若い家族が移り住んでいるが、中央校区と西校区の生徒ではその点の格差があり、経済的負担となっている。通学距離が規定内だから問題ないという事で切り捨てていいのか、我が町独自の負担軽減策は考えられないのか。</p>	町長
3	堤久美子	30分	1. 防災対策。 2. 地域福祉。	(1) 防災計画について。 (1) 再度、認知症サポーターの養成について。	<p>東日本大震災を受けて、志免町地域防災計画について問う。</p> <p>①志免町地域防災計画の修正は検討されているのか。</p> <p>②津波・原発を想定して検討はされるのか。</p> <p>③県から示された土砂災害防止法に対する対応は。 i 内水と土砂災害に対応した避難場所の確保は。</p> <p>高齢社会において、認知症は増加の一途を辿っている。</p> <p>①本町では対象者は何人ぐらいと把握されているか。</p> <p>②キャラバンメイト養成は。</p> <p>③認知症サポーター養成講座は「市町村窓口へ」と厚生労働省HPに掲載されているがその対応は。</p>	町長
4	牛房良嗣	30分	1. アジアの玄関口シメタウンにふさわしく。こどもの英語力日本一を目指す。 2. 新副町長の任命について。	(1) 先ずスタートとしては、保育園、幼稚園の園児に英語になじませ、英語と遊ばせる機会をつくる。 (1) 県職員を副町長として招聘。	<p>①年少、年長組に分け英語の歌、ゲームを通じ英語になじませ、英語と遊ばせ自然に英語力を身につけさせる。</p> <p>②行政の役割。 i 園児英語力アップ委員会を設立し保育園、幼稚園関係者の意見を聴取、検討。 ii 講師の募集、講師料の支援。</p> <p>①招聘への意図、目的と主要職務は。</p> <p>②抱負と今一番やりたいことは何か。</p>	町長 副町長
5	古庄信一郎	30分	1. 東日本震災と原発。事故を教訓とした施策の展開は。再度、新エネルギー推進都市の宣言を。 2. 志免町北部に「粕屋南部消防署・西部支署(仮称)」の新設について。	(1) 震災・原発事故後の志免町の対応について。 (2) 再度、新エネルギー推進都市へチャレンジすべき。 (1) 南部消防署における志免町での消防、救急の実態について。	<p>①震災・原発事故を教訓とした新たな取り組み、施策の検討や展開、見直し等、何があるか。 (本通告後の検討や提案されたものは除外)</p> <p>②防災計画の現況は。</p> <p>③耐震改修促進計画の現況は。</p> <p>④災害時応援協定の現況は。</p> <p>①志免町での再生可能エネルギーは。(自然エネルギー)</p> <p>②志免町での住宅用太陽光発電への取り組みの現況は。</p> <p>③住宅以外での太陽光発電への取り組みについて。</p> <p>④メガソーラー発電へのチャレンジ。県は、町は。</p> <p>⑤「新エネルギー推進都市」へのチャレンジと宣言を。</p> <p>①南部消防署から志免町全域への出動実態(時間他)、特に北部、別府、御手洗地区について。</p> <p>②実態に対する要因と所見は。</p>	町長

			3. 志免交番移転設置について。	(2)「粕屋南部消防署・西部支署(仮称)」の新設について。 (1) 請願採択後の対応と現況について。	①「粕屋南部消防署・西部支署(仮称)」の新設について。 ①請願採択後の対応と現況について。	町 長
6	二宮美津代	30分	1. 基金の運用。	(1) 地方自治法(第241条2項)。 (2) 基金活用事業。	①基金は条例で定める特定の目的に応じ確実に効率的に運用しなければならないとされています。そこで伺います、それぞれの運用状況はどうなっていますか。 i 国際交流基金。 ii 高齢者福祉基金。 iii 下水道施設整備基金。 ①国際交流基金。 子供たちに海外研修の機会を。 町の継続事業として「交流の翼」「少年の船」など考えられないか。	町 長
			2. 虐待防止。	(1) 児童虐待・高齢者虐待・障害者虐待への対応。	①障害者虐待防止法が成立し、平成24年10月1日の施行となっています。条例策定への取り組みを。 ②児童・高齢者・障害者それぞれに虐待防止法が制定されることとなったが、その対応について伺いたい。 ③対応窓口「虐待防止センター」の一本化はできないか。	町 長
7	吉田大作	20分	1. 水、環境問題。	(1)東日本大震災に鑑みる水問題(節水、漏水、洪水)の検証。	①本町でも過去3回大水害に遭遇したが、今回の震災時、特に津波が与えた水害、水の影響について。 ②雨水タンクについて、効用、用途、補助金は? ③町内での普及、推進について。	町 長
8	川崎博啓	30分	1. 商工会活動について	(1) 出張型商工会の設置	①志免町商工会においては広く町内業者の支援のため、役場庁舎内において臨時の窓口を設置したいという考えがあるがどう思われるか。 ②地元の商工業者に会員非会員を問わず、経営、金融、労務、法律について町民皆が利用する役場内において僅かな時間でも相談を受けようとする姿勢には自治体としても是非、応援すべきだと思う。	町 長
			2. 工事発注は適正な価格で。	(1) 役場内における一般物品購入および工事発注時の見積もり入札・一般入札について考え方を聞きたい。	①当、役場内で物品(鉛筆から机・いす)の購入をしているが、購入についての基準・手順はあるのか、価格や購入先についてはいかに判断されているのか。また、その他、電気機器あるいは空調機器等についてはどうしているのか。 ②一般工事について、見積入札と一般入札の取り扱いの違いはあるのか。 ③工事における金額の算出基準、工事金の精査、発注に至る過程および予定価格の決定等、入札における手順はどうなっているのか。 ④現在、世間では安い・安全がいいと言われているが、しかし、安いと安全は決して両立するわけがない。もしあるとすれば、それは、生産業者の並みならない努力と、薄利多売の原則だと思う。なぜなら、生産そのものを自分で体験すれば自ずと解るはずだ。もの作りはそんなに簡単じゃないし、又、それを流通の過程で販売しているものが容易く売れるわけでもない。知恵と経験に裏付けされたものだけがその利益に甘んじられていると思う。その点について、A社よりB社が仮に安い値段で購入できるとすれば必然とB社からという判断で構いはしないが、一般の競争原理にしたがえば最善の策といえる。しかし、自治体が、それも地元の役場がすべて、それかという話は違わないか、そこで適正価格という、言葉が出てくる、確かにあそこ行けばいくらで買えるとかあるが、じゃあ本当はいくらなのという話がそこら中にたくさんある、そこを自治体として検討判断をし購入や、入札をするべきじゃないか。また、	町 長

			3. 土砂災害防止法の説明会をうけて。	(1) 町民の立場になって考えて！	<p>大きな町でもない志免町が福岡市や北九州市と同じような体制で町民と向き合う事態、勘違いだと思う。志免町は志免町の考えでいいじゃないでしょうか。町で使うものは町で買い、町で発注されるものは町内業者を使うべきだ、それも適正価格で行うとゆう姿勢が大事じゃないか。</p> <p>①先日、志免広報にも掲載されていたが、役場視聴覚室にて福岡県砂防課より、平成13年4月に施工された法律をうけて災害防止法による災害警戒地区等の説明会があった。法律の趣旨についてはよく理解ができるが、単に説明を受けて納得できる町民も少なくはないと思う。なぜなら急に自分の土地がその指定を受け、今後どう対処していいのかわからない不安や人によっては疑心を抱いた人がたくさん見受けられた。確かに急な話であり 当志免町としても今後の対策や対処方についてもまだまだ時間が掛かるのは解るが、一般の町民は 県の職員も町の職員も同じ公務員であるのに誰も真剣に考えてくれないとの見解をもつに違いないと思えた。地元自治体の職員としては、先立って町民の側に立った心理等の対策等も検討すべき。又、町のトップとして町長は町民の不安や疑問について、まず考えて置かなければならなかったのではないか。</p> <p>②住民の生命財産の保全については、まず国が責任をもち、それを地方の自治体が代わって執行するべきと思う。故に、予算の有る無いにかかわらず手を差延べるべきだし、今できなくても、未来永劫出来ない訳ではない。すべて自治体がするべきものでもないが、町民の不安や・疑心は僅かなコミュニケーションでも解決できる部分があると思う、そこが重要なことではないのか。</p>	町長
9	末藤省三	30分	1. 防災について。 2. 介護について。 3. 子育てについて。	(1) 防災計画の見直し。 (1) 介護保険広域連合の検証と課題。 (1) 子育て新システム。	<p>①防災計画の具体的な進め方。 ②要援護者の避難計画。 ③玄海原子力発電所事故にそなえた避難計画、放射能被害から住民をどうまもるのか、対策をどう考えているのか。</p> <p>①広域連合の検証と課題。 ②広域連合設置理由の10のメリット論の現状と課題。 ③4月からの保険料の値上がり（平均） ④寝たきり老人介護手当支給せよ。 ⑤介護保険はどのように変わるのか。 ⑥地域包括センター各自治体ごとになる。 ⑦総合事業の実施でサービス及び料金はどうか変わるのか。</p> <p>①子育て新システムでどうか変わるか。 ②保育の実施義務はどうか。 ③子供の権利条例は守れるのか。 ④保育の質の低下につながるのでは。</p>	町長 副町長 町長 副町長